



一人ひとりが主役！
大口高校

大口高校は、戦前の旧制中学校と高等女学校を前身とする伝統ある「普通科進学校」です。習熟度別・個別指導が充実しており、生徒と職員のチーム力は抜群です。ここでは大口高校の充実した学校生活をお伝えいたします。

大学等出張講義

見聞を深め 自分の将来を見つめます

10月28日(金)、様々な大学から7名の先生方をお招きし、大学等出張講義が行われました。普段の授業とはまた違った専門的な70分間の講義に生徒も真剣な表情で聞き入っていました。



鹿児島県立短期大学
倉元綾子先生「ワークショップ
で今日の生活問題を考える」



鹿児島大学 小山佳一先生
「なっとく！高校物理でわかる
物質科学」



鹿児島純心女子大学
大鳥和子先生 「看護の仕事」

進学指導重点支援事業における 研究授業

11月11日(金)、本校で研究授業が行われました。国語・地歴・理科・英語の授業を県下の高校の先生方や伊佐市内の中学校の先生方に参観していただきました。いただいた助言を授業改善に活かしていきます。



教育講演会



演題
「地域づくりは楽しい」



11月10日(木)に、長島町の副町長である井上貴至さんに地方創生に関する講演をしていただきました。井上さんは、2015年4月、自ら発案した地方創生人材支援制度により史上最年少で副町長に就任されました。大口高校は、郷土への誇りと愛着を育もうと、地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。井上さんのユーモア溢れる講演を聞いた本校生からも多くの質問が出ました。

大口高校生プロデュース！ もみじ祭り

雨の中ご来場いただき
ありがとうございました！



雨の中頑張った大口高校フード班と日本大学永村研究室のみなさん。
この日のために何度も打ち合わせを重ねました。



伊佐市の保育園児たちが描いた紙灯籠。わが子が描いたものを見つけ、喜ぶ家族の姿もありました。

雨天のため11月27日(日)の「もみじ祭り」は中止となってしまいましたが、フード班がつくった「おにぎらず」は販売いたしました。雨の中、多くの方にご来場いただき、「おにぎらず」200個は見事完売！また、25日(金)・26日(土)は、アート班が担当した紙灯籠を見て多くの方が顔をほころばせていました。今回の活動により、本校生も郷土愛を育んだことと思います。ご協力してくださった関係者の方々や当日お越しくくださった方々に感謝申し上げます。

里帰り報告会

大口高校では、母校である中学校に帰り、高校で成長した姿を報告する「里帰り報告会」を行っています。今年度も1年生が母校に帰り、堂々と発表してきました。



△ 大口中央中



△ 横川中



△ 薩摩中



△ 菱刈中